

# 高校教科書は全部やらなきゃいけないの？ ～扱うレッスン数を絞って4技能を伸ばす取り組み～

馬場桃子（青森県立田名部高等学校）

坂井峻也（神戸市立葺合高等学校）

鈴木祐一（早稲田大学）

# 【スケジュール】

**第1部：Sherpaメンバー・ゲストからの話題提供**  
[55分]

休憩 [10分]

**第2部：フロアディスカッション** [85分]  
閉会(16:00頃)

※セミナー終了後：「なんでも相談コーナー」 [約30分] 16：30まで

## 話題提供

1. はじめに（鈴木）
2. 田名部高校（馬場先生）
3. 葺合高校（坂井先生）
4. まとめ（鈴木）

「英語コミュニケーション」の授業の「当たり前」？

---

**教科書は全部やらなければいけない**



検定教科書で、4技能を身につけさせるには？

# 検定教科書を徹底的に使い込んで、英語力の基礎を身につけさせる。

英語力の「基礎」とは？



- 高校の「英コミ」の教科書の90%は、中学英文法の組み合わせでできている(田中・臼倉, 2023)。
- 大学入試問題の80%は、中学英文法の知識があれば解ける(アルク教育号研究所, 2015)。
- 多くの高校生は中学英文法を使いこなせていない(金谷他, 2017)。

高校生は、中学英語を使いこなせるようになるか？

**10レッスン（単元）をすべて均等に扱っていても、  
中学英語は使いこなせるようにはならない。**

「英語コミュニケーション」  
1課の配当  
**8時間**

Lesson 1	Lesson 2	Lesson 3	Lesson 4	Lesson 5	Lesson 6	Lesson 7	Lesson 8	Lesson 9	Lesson 10
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

では、どのような解決案があるのか？

## レッスンを「捨てる」

扱うレッスン数

**6-7課/10課**

1課の配当

**12-18時間**

Lesson 1	Lesson 2	Lesson 3	Lesson 4	Lesson 5	Lesson 6	Lesson 7	Lesson 8	Lesson 9	Lesson 10
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

なぜ、レッスンを「捨てる」のか？

英語4技能（スキル）を磨くためには、練習する時間が必要

ピアノ教室

10曲を弾けるようになるための時間が足りない時、どうする？



# 「英語コミュニケーション」カリキュラムを 柔軟に運用する2つの試み

青森県立田名部高校

TANABUモデル (2013年～)

レッスンに軽重をつけて、  
しっかりと練習させることで、  
GTECの伸びが全国2位

神戸市立葺合高校

(2005年～)

教科書全部やっていたと  
きと比べて、半分ぐらい  
しかやってない時の方が  
成績が高くなった

1. 「すべて扱わない」形式になった経緯は？
2. 扱わないレッスンはいくつ？
3. 扱うレッスンではどんな教え方をしている？
4. 生徒の学力は伸びているの？
5. 扱わないレッスンは、何か手当をしている？  
または英コミュ以外の授業でカバーしている？

## 話題提供

1. はじめに（鈴木）
2. **田名部高校（馬場先生）**
3. 葺合高校（坂井先生）
4. まとめ＋2つの調査（鈴木）

# 青森県立田名部高校の実践について（20分）

1. 「すべて扱わない」形式になった経緯は？
2. 扱わないレッスンはいくつくらい？
3. 扱うレッスンではどんな教え方をしている？
4. 生徒の学力は伸びているの？
5. 扱わないレッスンは、何か手当をしている？または英コミュ以外の授業でカバーしている？
6. 終わりに

# 1. 「全て扱わない」形式になった経緯 TANABU Model 基本形（2014）

## こってりコース

Pattern A 【**超こってり**】 18時間  
“**パフォーマンス**”

Pattern B 【**こってり**】 12時間  
“**リテリング**”

## あっさりコース（廃止）

Pattern C 【**あっさり**】 6時間  
“リスニング”ではじめる

Pattern D 【**超あっさり**】 2時間  
“読解力”診断テスト

1. 「全て扱わない」形式になった経緯  
4 単位 1 4 0 時間中 8 割程度で検討している

2024  
1年

Pattern A 5 課

Pattern B 1 課

計 1 0 2 時間

2024  
2年

Pattern A 5 課

Pattern B 1 課

計 1 0 2 時間

## 2. 扱わないレッスンはいくつ？

Pattern C,D よりA,Bへ 4 課捨てる

2014

Pattern A 2 課

Pattern B 3 課

Pattern C 3 課

Pattern D 2 課

5課捨てる  
に等しい？

2017

Pattern A 2 課

Pattern B 5 課

Pattern C 3 課

Pattern D 0 課

3課捨てる  
に等しい？

2024

Pattern A 5 課

Pattern B 1 課

Pattern C 0 課

Pattern D 0 課

4 課捨てる

教科書を易しいものに変更

## 2.扱わないレッスンはいくつ？

Pattern Aにウエイトを→全てPattern Aへ

2024  
1年

Pattern A 5課

Pattern B 1課

4課扱わない

2024  
2年

Pattern A 5課

Pattern B 1課

4課扱わない

2024  
3年

Pattern A 4課

※11月（特編授  
業前）まで実施

## 2. 扱わないレッスンはいくつ? **4** / 10レッスン中

2024年度 2年次の例

### **BIG DIPPER English Communication II (数研出版)**

1学期

**Lesson1 Why Don't You Come to School Pajamas? (Pattern B: Retelling)**

**Lesson6 Wakamiya Masako: The world's Oldest Game App Developer  
(Pattern A: Role-play)**

2学期

**Lesson3 Do You Get Enough Sleep? (Pattern A: Skit)**

**Lesson7 Learning from Nature (Pattern A: Role-play)**

3学期

**Lesson8 The Wisdom of Preserving Food (Pattern A: Role-play)**

**Lesson9 The Sharing Economy: Something for Everyone?**

**(Pattern A: Debate** ※スライド作成時実施計画中)

Lesson 2・4・5・10実施せず

3. 扱うレッスンではどんな教え方をしている？

Pattern B 【こってり】 12時間

“リテリング”で終わる

- 1 PARAGRAPH CHART
- 2 SUMMARY
- 3 COMPREHENSION
- 4 VOCABULARY SCANNING
- 5 READING PRACTICE
- 6 DICTATION
- 7 RETELLING

3. 扱うレッスンではどんな教え方をしている？  
Pattern A 【超こってり】 18時間

“パフォーマンス”で終わる

- 1 PARAGRAPH CHART
- 2 SUMMARY
- 3 COMPREHENSION
- 4 VOCABULARY SCANNING
- 5 READING PRACTICE
- 6 PERFORMANCE TEST

### 3. 扱うレッスンではどんな教え方をしている？

## Pattern A 【超こってり】 18時間

2024年度 2年 実施計画例

授業内容		時間数
Part1	①～⑤	2.5
Part2	①～⑤	2.5
Part3	①～⑤	2.5
Part4	①～⑤	2.5
質問を考える（個人・ペア）		1
質問をクラスで共有し、5つに絞る・インタビューテストの手順確認・原稿作成		1
原稿作成（ペア）		2
原稿直し・発表練習		2
発表本番・振り返り		2
計		18

### 3. 扱うレッスンではどんな教え方をしている？

#### Pattern A 【超こってり】 18時間

- ・他にどのようなパフォーマンステストを行っているのか
  - 1～3年次へ、段階的に即興性のある活動を取り入れている
  - 1年次 **Role-play**
  - 2年次 **Role-play** + 事前に決めた質問に加え、  
個人で考えた質問も準備
  - Debate**
  - 3年次 **Debate**
  - Presentation** + 原稿の暗記に加え、  
質疑応答の時間も設定
  - Discussion** + 教科書の他に追加の英文も使用

## 4. 生徒の学力は伸びている？(GTECから)

2013（平成25）年度入学生～2020（令和2）年度卒業生

- 2013（平成25）年度入学生  
高校1～3年までのGTECの伸び 全国3位
- 2014（平成26）年度入学生 伸び 全国2位
- 2年生（新課程・TANABU Model初年度）  
は同一日に受験した3年生（旧課程）を追い越した。
- その後、2020（令和2）年度の卒業生までの成績の伸びは同等あるいはそれ以上と考えられるという回答を得た。

(ベネッセに依頼した分析による 2021年3月)

## 4. 生徒の学力は伸びている？(GTECから)

2013（平成25）年度入学生～2020（令和2）年度卒業生

	Total	Reading	Writing	Listening
伸び（田名部）	+101	+39	+17	+45
全国平均	+57	+24	+7	+27

現在は？

- ・ 2024（令和5）年度入学生の伸びを分析すると  
TotalとListeningは全国平均の伸びを大きく上回っ  
ている。Reading, Writing, Speakingは全国平均並み  
の伸びである。

## 5. 扱わないレッスンへの手当は？

- 手当は特にしていない

昨年度、春期課題として1レッスンの読解を課したことはあるが・・・

- 副教材（単語帳）を用いて週1でテスト実施（1年次から継続・2～3周実施）
- 副教材（長文問題集）を課題として使用

## 6. 終わりに 私たち田名部外国語科教員の思い

- ・ 扱ったレッスンの語彙・表現をしっかりと定着させたい！
- ・ 定着した語彙・表現を自動化できるようになってほしい！
- ・ 授業で扱っていないレッスンの語彙・表現はできるようになっていたら奇跡！？ 重要語彙・表現ならば、別の場面でまた出会えるはず・・・

## 6. 終わりに 先生方の感想から

- 様々なアウトプット活動を通して、前に学んだことに戻り、復習として触れることが定着につながっていると感じた。
- 即興でのやりとりをする生徒が増えてきた。
- 間違いを恐れずに言語活動を楽しむ生徒がかなり増えた。
- 録画した自分の発表から、文法のエラーに気づけるようになった生徒が少し見られるようになった。
- 細かな間違いは多々あるが、最低限、相手に伝わるレベルの英語で書いたり話したりすることができるようになり、大学入試の英作文の添削指導からも同じことが感じられた。

## 話題提供

1. はじめに（鈴木）
2. 田名部高校（馬場先生）
- 3. 葺合高校（坂井先生）**
4. まとめ＋2つの調査（鈴木）

# 葺合高校の実践(20分)

1. 「すべては扱わない」形式になった経緯は？
2. 扱わないレッスンはいくつぐらい？
3. 扱うレッスンではどんな教え方をしている？
4. 生徒の学力は伸びているの？
5. 扱わないレッスンは、何か手当をしている？
6. まとめ

# 1. 「すべては扱わない」になった経緯

- SELHi（平成17年～19年度）からの流れ【竹下厚志先生】

## 2. 扱わないレッスンはいくつ?

教科書：三省堂CROWN

「10レッスン中4レッスンは扱いませんでした」

今年の例：1. Lost in Translation +Saving Cherokee

2. One Book Can Empower a Child

3. Crossing the Border

4. Paper Architect

5. Why Biomimicry

6. Invisible No Longer +Fairtrade

7. Nudges

8. Jose Mujica

※ハイライトは投げ込み教材

# 3. 扱うレッスンではどんな教え方？

## 単元略案

作成者:坂井峻也

※普段の授業の大まかな流れを具体例を用いて説明するために、架空のクラスや授業を想定しています。  
(教材は、著作権の関係上、Shelpa の先生方作成のものを使用させていただいています。)

1. 単元名 Your Personal Space
2. 想定クラス 1年 3,4 組 28 名
3. 想定時期 9 月
4. 時間数 10 ~ 11 時間
5. 単元目標
  - ①Personal space 研究の専門家として、準備された質問や即興の質問に対して、インタビューに答えることができる。(話すこと・やり取り)
  - ②短時間で説明文の概要を理解することができる。(読むこと)
  - ③Personal space に関する説明文の詳細を理解している。(読むこと)

### 6. パフォーマンステスト(インタビュー)について

#### 【概要】

- ・生徒は Personal space の専門家になりきる
- ・教科書や投げ込み教材の内容と一致する質問項目が6つ程度あり、当日はそこから2つ程度インタビューアー(=教師)に質問される[準備型の質問]
- ・準備型の質問6つは最初の時間に配る要項に記載してある  
例:How is personal space different between men and women?
- ・生徒は上記以外に、教科書等で学んだことから類推して答えられる質問や、Personal space に関する個人的な質問を2つ程度聞かれる[即興型の質問]  
例:When we talk to a stranger, why does personal-space bubble become larger? Please tell me your opinion.  
※この即興型質問は、Part 2 にある"When you know a person well, you feel more secure."の文を活用して答えられることを想定している。

#### 【流れ】

- ・入室 →インタビューへの回答(計 4 問程度・2 ~ 3 分間) →「終了者用待機室」へ

### 7. 単元計画

回	活動	活動の目的	備考
1	○Introduction	・題材への関心を持たせる	・実際にパーソナルスペースを測る ・スライドでクイズをしたり、動画を

	○単元目標の提示と、最終パフォーマンステストの説明 ○全体の概要の読み取り	・力を入れて取り組むべき方向性を示す ・概要の読み取り方(読み方)の指導を行う	用いる ・Part 1 ~4 全体を合わせ、英語を簡単にし、英文量を減らしたものを 用いる
2~8	○Part 1~4 ○Additional Reading	<p>【大まかな流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. First Reading           <ul style="list-style-type: none"> <li>・90 秒程に時間を設定し、概要を掴む(T/F など)</li> <li>・T/F に答えている時は閉本の状態</li> </ul> </li> <li>2. Vocabulary</li> <li>3. Second Reading           <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細を掴む(Q&amp;A など)</li> <li>・次時の Review の際には閉本の状態で尋ねる</li> </ul> </li> <li>4. Reading Aloud           <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー活動につながるよう、Read &amp; Look up や Shadowing までもっていく</li> </ul> </li> <li>5. Retelling           <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙や文構造レベルのパラフレーズを指導する</li> </ul> </li> </ol> <p>※今回は単元目標に「概要の読み取り」があるため上記の流れですが、普段は 1. Oral Introduction→2. Listening→3. Vocabulary→4. First Reading...となることも多いかもしれません。</p> <p>・以下の資料等を内容のインプットとして与える <a href="#">What 'personal space' looks like around the world - The Washington Post</a></p> <p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1回単語の小テスト(口頭)あり</li> </ul>	
9	○インタビュー練習	・要点を読み取る ・口頭で復習する中で、全体を読み返す	・全体の通し読みを行う ・準備型の質問と即興型の質問を 交え、ペアで練習
10~11	パフォーマンステスト ※待機中の生徒やテスト終了者へは単語帳のスプリングを練習させ、それを提出させる		

# 4. 生徒の学力は伸びている？

## C) 実力テストの比較 (平成 19 年度生、18 年度生および 17 年度生)

	今年平均 (県内平均)	昨年平均 (県内平均)	一昨年平均 (県内平均)
校内統一テスト 4月	42.88	39.24	41.24
全統模試 (河合塾) 5月	97.2 (97.0)	88.72 (103.7)	
全統模試 (河合塾) 8月	100.9 (107.1)	98.9 (112.4)	
全統模試 (河合塾) 9月	67.4 (85.6)	56.4 (79.7)	
代ゼミ模試 11月	59.4	53.4	

\*昨年度、一昨年度はセルハイ対象でない学年

\*校内統一テストは過去5年間で同じ問題内容 (100点満点)

\*全統模試は昨年度から本校で採用している (200点満点) (一昨年度までは進研模試のため比較不可)

\*一昨年度は本校に過去最高の倍率の中で入学しており、本校普通科では過去最高のレベル

\*代ゼミは国際科と普通科を含む数字

## D) 英検 3年普通科200名のみの数値

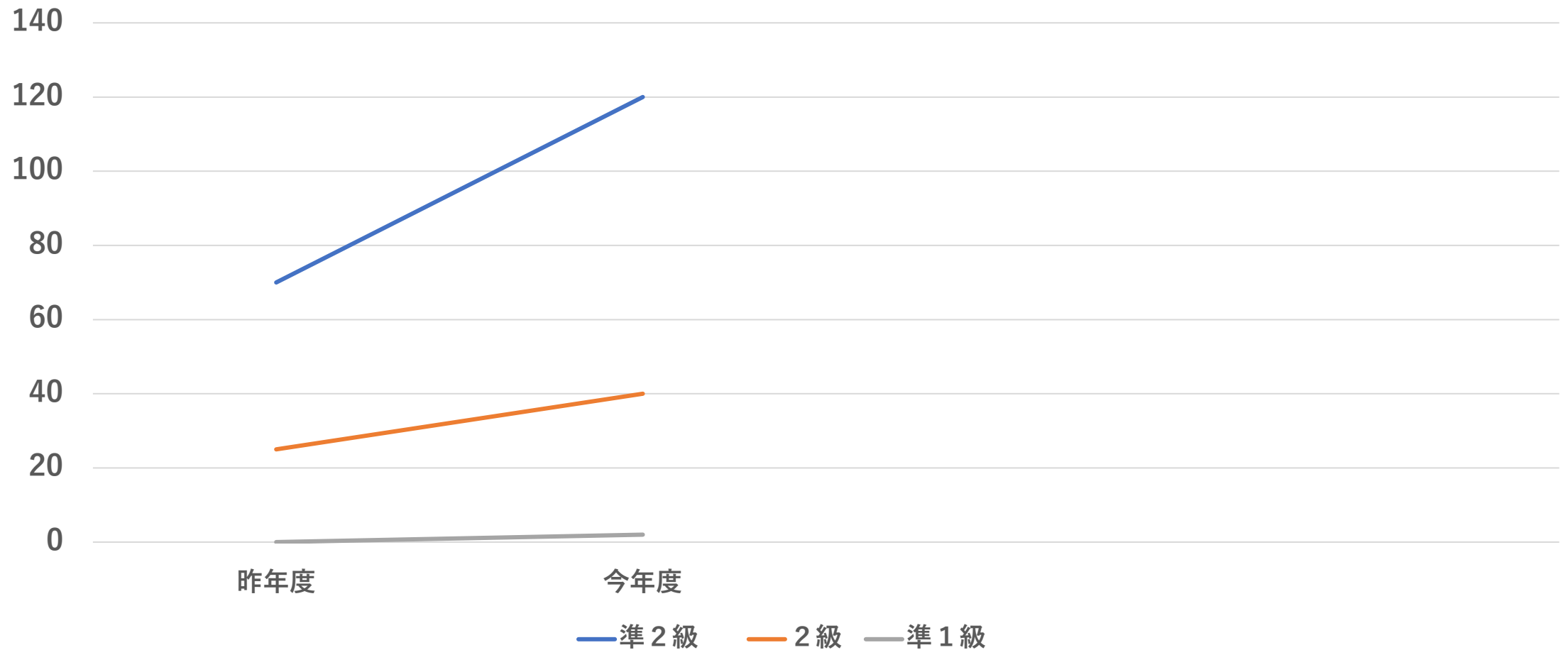
本年度普通科3年：準2級120名 (昨年度70名)、2級40名 (昨年度25名)、準1級2名 (初)

## E) センター試験

	英語		リスニング	
	本年度	昨年度	本年度	昨年度
本校	138.0	137.0	31.8	32.7
全国平均	125.26	131.9	29.45	32.5

# 4. 生徒の学力は伸びている？

英検取得者数変移



## 5. 扱わないレッスンへの手当ては？

「全くなし」

※1度冬季課題として読ませ課題テストをしたが、力が付いた実感がなく廃止に

## 6. まとめ

前提として、「教科書を全てやる」義務はありません。

「英語力をつける」という目的への手段として、「生徒の実態や必要性  
に応じて教材を選ぶ」こと及び「生徒の実態や必要性に応じて教材の  
扱い方(かける時間)を変える」ことが効果的であると考えています。

## 話題提供

1. はじめに（鈴木）
2. 田名部高校（馬場先生）
3. 葺合高校（坂井先生）
4. **まとめ＋2つの調査（鈴木）**

## レッスンを「捨てる」

▶レッスンを「絞って」、英語4技能を身につけさせる。

1. 教科書をベースにした実践
2. 英語を使う練習・コミュニケーション活動を有機的に組み合わせている

## 成果

- ◆ 英語力（GTEC、外部模試、英検など）が伸びている。
- ◆ 間違いを恐れずに言語活動を楽しむ生徒が増える。
- ◆ 中学英語や語彙・表現がしっかり定着する可能性(?)。

# 調査1：語彙はどれくらい「定着」しているのか？

## 1年前に扱ったレッスンにある語彙の定着度テスト

### 概要

- 2025年2-3月に実施
- 葺合と田名部の高校2年生を対象
- 高1年・3学期に扱ったレッスンから抽出
- 高校で学ぶ新出語（6-10語）の意味を書けるか

1. **Traditionally**, a takeout fish and chips was always wrapped in old newspaper.

1. traditionally

回答を入力

2. People believed that the newspaper **absorbed** oil, making the taste better.

2. absorb

回答を入力

語彙はどれくらい「定着」しているのか？

**1年後でも、約50－60%の新出語の意味を覚えている。**

	丁寧に扱った
田名部 (155名)	48%
葺合 (33名)	63%

語彙はどれくらい「定着」しているのか？

**1年後でも、約50－60%の新出語の意味を覚えている。**

	丁寧に扱った	扱っていない	ワークブックのみ
田名部 (155名)	48%	23%	29%
葺合 (33名)	63%	54%	

## 調査2： 「教科書を絞って教えている」学校は他にもあるのか？

### オンライン・アンケート

2024年にSherpaセミナーに参加した英語教師640名

▶ 「実施している」と回答した教師10名

1. 何レッスン捨てているか？
2. 絞ったレッスンでは何を行っているか？
3. 捨てたレッスンはどうしているか？

## 1. 何レッスン捨てているか？

# 4課捨てて、1課当たり12コマを配当

該当校数	捨てるレッスン数	1課にかける時間
2校	2.5課	8-10コマ
8校	4.3課	12-18コマ

## 2. 絞ったレッスンでは何を行っているか？

### 発信活動を取り入れている

活動内容	1課当たりのコマ数	学校数
田名部モデルで使われているようなパフォーマンステストやリテリング活動	12-18時間	4校
プレゼンテーション	10-12時間	4校
ライティング活動・スピーキングテスト	12時間	1校
言語活動、追加リーディング素材、関連の入試文法問題	8時間	1校

### 3. 捨てたレッスンはどうしているか？

## 全く扱わない場合、リーディング素材にしている場合も

活動内容	学校数
一切扱わない	4校
投げ込みリーディング素材	3校
1課のみ夏休み課題	2校
定期テストに出題	1校

# 高校教科書は全部やらなきゃいけないの？

レッスンの扱い方を柔軟に考え、英語を練習・使う時間を捻出し、英語力を向上させることができる。

## 休憩後：2部 フロアディスカッション (85分)

- 授業の進め方
- 他の科目やメインの教科書以外の扱い方
- 自分の学校でもやってる
- 同僚との協力関係

などなど

次回Sherpa Seminar  
5月25日（日） 13:30 -

**第二言語習得（SLA）から英語授業を振り返ってみよう**  
**～“科学的”知見に基づく指導と教室活動の設計～**

鈴木祐一（早稲田大学准教授）

萩原一郎（神奈川大学ほか非常勤講師）